

第56回 全日本中学通信陸上競技大会東京都大会 大会規則及び競技注意事項

本大会は2010年度日本陸上競技連盟の競技規則と本大会要項によって行う

1. 招集方法

- ①招集場所は、100mスタート後方で行う。混成競技の2・4種目目は現地集合とする。
- ②中体連ルールとして、第1コールを行う。出場確認の○印を付けること。(代理可)
- ③招集は競技開始時刻のトラック競技は20分前、フィールド競技は30分前に打ち切る。
- ④リレーのオーダー用紙は、招集時間の1時間前までに予選・決勝ともに競技者係へ提出すること。
(オーダー用紙は学校受付および競技者係に用意してある)

2. 競技方法

- ①トラック競技は、棄権者がでてレーンが空いても詰めないで行う。フィールド競技の試技順は上から下の順に行う。準決勝・決勝のレーン順は主催者側が公正に抽選で行う。
- ②100m走の準決勝進出者は予選のタイム上位から24名とし、同タイムの場合は放送で選手を呼び出し抽選を行う。決勝への進出者は3組2着プラス上位記録2名とする。同タイムの場合は写真を拡大し判定する。(判定できない場合は抽選とする)
- ③ハードル走の準決勝進出者は予選のタイム上位から16名とし、同タイムの場合は放送で選手を呼び出し抽選を行う。決勝への進出者は2組4着とする。
- ④100m以外の短距離走・リレーの決勝進出者(チーム)は予選タイム上位から8名(チーム)とする。同タイムの場合は写真を拡大し判定する。(判定できない場合は抽選とする)
- ⑤トラック競技とフィールド競技に同時に出場する選手は、トラック競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に連絡して、トラック競技終了後ただちにフィールド競技に戻ることにする。
また、招集場所で2種目出場のことを競技者係にはっきり申し出る。(ラウンド内に戻らないとパス扱いとする)
- ⑥3000mはグループスタートとする。
- ⑦今大会に限り、男子1500m・3000m、女子1500mはタイムレース決勝とし、総合順位を決定する。
- ⑧スターティング・ブロックの使用を義務づける。
- ⑨フィニッシュラインを超えても自分のレーンを走り抜ける。(他選手との接触を避けるため)
- ⑩走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。(荒天の場合は変更することもある)

種目	グループ	練習(どちらか)	競 技
走高跳	共通男子	1 M 50 or 65	1 M 55 60 65 70 73 76 79 82 85 以後も3cmずつ
	共通女子	1 M 25 or 40	1 M 30 35 40 45 48 51 54 57 60 以後も3cmずつ
四種走高跳	共通男子	1 M 30 or 45	1 M 35 38 41 44 47 50 53 56 59 以後も3cmずつ
	共通女子	1 M 20 or 35	1 M 24 27 30 36 39 42 45 48 51 以後も3cmずつ
棒高跳	共通男子	2 M 50 or 3 M 20	2 M 60 80 3 M 00 10 20 …… 以後も10cmずつ
		or 3 M 80	4 M 00 以降は5cm

- *走高跳の男子は1M76より呼び出しを1名にし、A・Bピット同時進行にて順位を決定する。
- *走高跳の女子は1M45より呼び出しを1名にし、A・Bピット同時進行にて順位を決定する。
- *上記以後の高さについては、最後の一人になるまで走高跳は3cm、棒高跳は5cmきざみとする。
- *1位決定のためのバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- ⑪1年男女走幅跳は、トップ8より呼び出しを1名にしA・Bピット同時進行にて順位を決定する。
- ⑫共通男女走幅跳は、予選を行い予選通過記録(男子6m50、5m30)を設け突破者もしくは、上位記録12名でAピットで決勝を行う。
- ⑬共通男女砲丸投は、予選を行い予選通過記録(男子13m00、女子12m50)を設け突破者もしくは、上位記録12名で決勝を行う。
*走幅跳、砲丸投の決勝進出者で同記録の場合はセカンド記録の上位者を決勝進出者とする。
- ⑭競技に使用する器具は棒高跳用ポールを除き、すべて競技場備え付けのものを使用する。
- ⑮リレーに使用するマーク用テープは各校で用意し、使用後は自校ではがす。
- ⑯混成競技(1)棄権した種目以降の参加はできない。(最終順位にも加えられない)
(2)3種目終了時点の順位により4種目目の番組編成を行う。招集場所にて組・レーンを確認し、腰ナンバーカードを受け取る。(代理可)

3. ナンバーカード(番号布)

ナンバーカードは各校で用意する。各校で作製するときは、各校に割り当てられた番号を規定通りの大ききで書く。胸と背の四隅をしっかりと止めるが、走高跳・棒高跳については胸背のどちらでもよい。(3名以上出場する学校は、部長より割り振られたナンバーを使用すること)

4. 表彰

- ①各種目の優勝者にはバッジ、8位（リレー3位）までの入賞者には賞状を授与する。
- ②東京都中体連独自の種目（低学年リレー・1年走幅跳）及び共通リレーの4位～8位入賞校について中体連より賞状を授与する。

5. 競技場使用上の注意

- ①競技場の使用時間は厳守する。昨年度より顧問または外部指導者の学校受付時（7:20～7:40）にプログラムの配布と入場順の抽選を行っている。その順番に従い開門時間8時10分に各校2名以内が第3ゲート（1500mスタート付近）より入場する。係の先生の指示に従う。
- ②メインスタンド・バックスタンドでのタープの使用を認めるが、通路の手すり（通行の妨げになる）にはひもをくくりつけないようにすること。
（大人数の学校でシート1枚以内。どの学校も最小限の範囲で使用する）
- ③貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止につとめる。
- ④更衣室の使用は禁止となっているので、更衣を済ませて競技場に来る。
- ⑤競技場への往復の行動には、十分に注意する。（別紙参照）
- ⑥グラウンド内の飲食及びビン・カン類の持ち込みは禁止する。（但し、跳躍選手及び投てき選手においては水分補給のため水筒の持ち込みを認める）
- ⑦フィールド内の芝生は、使用禁止となっているので、入らない。
- ⑧本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン等の設置場所にも絶対に入らない。
- ⑨本競技場は全天候舗装のため、スパイクのピンは9mm以下。ただし、走高跳は12mm以下を使用する。
- ⑩グラウンド以外（スタンド・建物内）はスパイクシューズを脱いで通行する。
- ⑪ウォーミングアップについて
* 競技場バックストレート及び競技場周辺を使用する。（但し、長距離種目の実施中については、使用制限がある。場内司令及び練習場係の指示に従い、選手同士が接触しないよう注意する）
* 江戸川区立清新第二中学校のご協力により校庭を開放していただきました。
250mのトラック、スタートダッシュ、ハードル、走幅跳、砲丸投の練習ができます。
トイレは競技場を使用し、校舎内には立ち入らないなどマナーを守ること。（別紙参照）
- ⑫ゴミ類は必ず自宅まで持ち帰る。（決して競技場周辺や駅、コンビニなどに捨てていかない）
- ⑬トイレは清潔に使用すること。
- ⑭走幅跳の足合わせ、練習用のハードルを下記のようにバックストレートに設置する。また、走り幅跳びのピットの準備ができしだい、競技開始30分前まで練習を許可する。

	走 幅 跳	ハ ー ド ル
2 3 日	8:30～9:20, 12:00～13:30, ピットの準備ができしだい～9:30	8:30～9:30, 12:00～13:00, 13:50～14:10
2 4 日	8:30～9:20, 11:00～14:00, ピットの準備ができしだい～9:30	11:00～12:00,

6. その他

- ①西葛西駅より競技場への行き来について
 - ・集合住宅の方より強い苦情が寄せられます。集合住宅内の通行を禁止します。
 - ・野球場脇を通り、清新町コミュニティ会館の前を通って競技場へ来ること。大声を出したり騒いだり、また他の人の通行の邪魔にならないよう十分に注意すること。
- ②引率の先生方には競技役員として協力をお願いします。
- ③選手の負傷について応急処置は本部（医務室）で行うが、以降についての責任は負わない。
- ④練習場として清新二中の校庭が使用できます。使用にあたっては練習場係の指示に従うことと、砲丸投に関しては競技用の砲丸は使用しないこと。
- ⑤第37回全日本中学校陸上競技選手権大会（8月20日～23日、鳥取県・コカコーラウエストスポーツパーク）の参加標準記録到達者は申込関係書類を「本部選考」にて受領すること。
- ⑥第38回関東中学校陸上競技大会（8月9日開会式及び競技会・10日競技会及び閉会式、千葉県・県総合スポーツセンター陸上競技場）の東京都代表選手は、本大会及び総体の成績により選考する。
- ⑦本大会の共通男女リレー優勝校は全日本中学校陸上競技選手権大会への出場候補校となる。また、上位入賞校は関東大会（学校単独3チーム出場）の参加候補校となる。
- ⑧2日目終了後、清新二中で説明会があるので必ず出席すること。
- ⑨本大会は国民体育大会東京都予選会を兼ねる。
- ⑩競技場の清掃については、競技会終了後に各支部専門委員の指示により、全校にて行う。

清掃分担場所

	メインスタンド	1曲走路スタンド	バックスタンド	2曲走路スタンド	バックスタンド裏
2 3 日	江東・墨田	練馬・荒川	豊島・台東・渋谷	中央・中野	目黒・葛飾・千代田
2 4 日	江戸川・港	世田谷・新宿	足立・北・杉並	大田・品川	文京・板橋